

2024.3 余郷園長が 神奈川県私立幼稚園連合会の会報に 掲載されました



「無量寿経」の経文に書かれているお言葉です。どちらも仏教の言葉であります。世界に目を向ければ「戦争」、国内では人をだます「詐欺」、わが欲求を満たすための「無差別犯罪」が横行し、正に上記の言葉が現在の世に足りていないことを表していると感じます。

「わげんあいご」「ぜんにじょうもん」と読みます。「和顔愛語」の意味は、にこやかに和んだ顔で微笑み、優しく愛情を込めた言葉で話しかけること。「先意承門」は、相手の心持ちを先んじて読み取り、その思いを満たしたいと相手に対し気遣いや心配りをする事。

それぞれに意味がありますが、いずれも

横須賀協会

協会長
余郷有聡

「和顔愛語」と「先意承門」

幼 Shin-Shi-You Vol.222

12協会長
に聞く

2年間を振り返って

早いもので、年度末を迎えました。県内12協会の協会長に今期を振り返って頂きました。

当協会では、地域の少子化が進み、教職員の採用難、園務のICT化への取組、コンプライアンスの尊重等々、数え上げればきりが無いほどの課題が迫っています。私は幼児教育の仕事に奉職し40年になりますが、このような経験は初めてです。まさに過去に経験のない事象が展開されています。

このような状況下ではありますが、2期4年間本職を担うことができたことは、横須賀市私立幼稚園認定こども園協会には「和顔愛語」と「先意承門」があふれているからこそです。皆様ありがとうございます。

